

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 益田清風高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月23日(金) 13:10～15:10
- 3 開催場所 益田清風高等学校 会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した。
- 4 参加者

会長 森本翔太郎 委員 中村 好一 皆越 眞佐代 向野 優子 大坪 孝弘 河村 治代 佐野 ちあき 長尾 伴文 前田 芳隆 中川 勇	馬瀬建設株式会社 専務取締役(欠席) 下呂市教育長 NPO飛騨小坂200滝 NPOみらいろ理事長 下呂市萩原振興事務所長 下呂看護専門学校長 ホテルくさかべアルメリア職員 ぎふ夢教育応援隊 前小坂中学校長 育友会長
学校側	小田 正人 校長 青木 穰 事務長 石丸 浩国 教頭 井田 誠 教務主任 打保 圭史 生徒指導主事 上田 界堂 進路指導主事 塚中 一成 保健安全部長 角川 公太 特別活動部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 本校のスクールミッションについて
- (2) 令和7年度学校経営計画等について
- (3) 意見交流

意見1・少人数教育の良さを中学生へ伝えることが大切だと思う(高校生が行動して)

- ・公開授業を地域に公開するようにはどうか。
- ・業務負担があるのであれば地域に委託したり、土日の活動などを地域に任せたりしても良いのではないか

意見2・特色を出す(少人数教育、部活動など)必要があると思う。

- ・オープンキャンパスを中1, 2も対象にすることは、早い段階で学校の良さを知ることができて良い。
- ・各中学校へ出向いて進路説明を卒業生徒と行うなどの交流は良いことだと思う。
- ・ボランティア活動や中学との連携可能な運営計画を期待している。

- 意見 3・地元に根付く進路選択を促すように考える必要がある。
- ・部活を活発に行っていくことで、中学生だけではなく地域や保護者の目にとまる。
- 意見 4・部活動に、中学 1，2 年生から参加できる機会を増やしてはどうか。
- ・地域に根付いた探究活動（商品開発などにつながる）を積極的に行ってほしい。
- 意見 5・下呂市の人材育成に力を入れる学校教育を期待している。
- 意見 6・キャリア教育を充実させ、下呂市と協力しながら行うことを考えてはどうか。
- ・生徒数が減少しているが、少人数での活動を PR すると良いのではないか。
- 意見 7・その学校の卒業生の高校生と中学生が関わる機会は素晴らしいことだと思う。
- ・行事、ボランティアが多く、勉強ができないという意見もある。
 - ・地域の指導力を向上させて高校生に還元することはできないか。
- 意見 8・高校生が中学生徒と合同で部活動を行うことはできないか。
- 意見 9・昨年に引き続き、炊き出し訓練を小中高学校が連携して高校生主導で活動していきたい。
- ・地域の防災リーダーを育てたい。
 - ・中学のボランティアが活発なので、高校生にも率先して参加して下級生に良い姿を見せてほしい。
 - ・ボランティアについて、高校側からも発信してもいいのではないか。

6 会議のまとめ

令和 7 年度 第 1 回学校運営協議会が開催され、スクールミッションおよび学校経営計画について、全ての委員からご理解とご承認をいただきました。

協議の中で、下呂市唯一の高校として魅力ある学校づくりを進めるための方策について活発な意見交換が行われました。特に、生徒たちが地域に出て地域の方々と協働する機会を増やすことの重要性が確認されました。これにより、生徒たちが協働することの大切さを学び、将来的に地域リーダーとして活躍できる資質を育むことにつながるとの共通認識が得られました。

また、高校生の活躍が下級生にとって大きな魅力となることに着目し、今後は高校生の具体的な活動を下級生に伝え、憧れを持ってもらえるような機会を創出していくことの重要性についても議論いたしました。